

閉ざされた 育児

結婚して知らない土地に越してきて出産したような場合、生活そのものがまだ不安定な上に、いままでさわったこともない頼りない赤ん坊を抱えて、初めての育児はとまどうことの連続です。夜泣きや授乳で睡眠不足にもなります。こんなとき、夫から、オレは会社があるんだぞ、おとなしくさせられないのだからと怒鳴られたりすれば妻は途方にくれ、自分はダメな母親なのかと落ち込んでゆきます。

こつしたことを考えると、まず、子育てには養育者自身の安心感や自己肯定感そしてゆとりが大事です。夫婦間で一方的に妻ばかりに育児の責任が負わされていたり、夫からの力による支配があれば当然ながらゆとりが失われ、子育てが困難になり、虐待に近い状況が生まれることにもなります。ここに経済的困難などのストレスが加われば、子育ては苦痛そのものになりかねません。これは誰にでもおこりうることです。

地域社会に 求められるもの

次の世代の子どもたちが、より豊かに育つ環境を整えることは、子どもをもつ、もたないにかかわらず、大人たちみんなの責任です。

経済効率第一の社会では、妊娠・出産という女性の機能はなじみにくく、子どもやからだの不自由な人は生きにくくなっています。ここで改めて、私たちの社会がゆとりをもって、こまやかに子どもたちとかわることができるとは条件を満たしているかが、問われるのではないでしょうか。

女性も男性も働きながら子育てできるような労働時間の短縮や、育児休業制度、保育所の整備など、課題はたくさんあります。ここ2・3年の間に、各自治体には子育て支援課が設置されるようになり、社会的サービスも整ってきました。みんなから支えられ、近隣の人たちの温かな眼差しがあり、利用しやすいサービスのネットワークがあること、そしてそれらを受け入れられる開かれた家庭であることが大切です。一人で子育てするのはではなく、一歩を踏み出してみませんか。

古谷 高子(児童福祉司)



ご存じですか こそだて情報誌

西東京市には、こそだて情報誌「子育て便利帳」と「子育てマップ」があります。

子育て便利帳には、様々な支援制度や事業が紹介されています。子育てに悩んだ時、困った時は、いろいろな制度や相談機関をぜひご利用ください。また、子育てマップには、関連施設の一覧と、利用についての説明がありますので一緒にご覧ください。

子育て便利帳は
ここにあります



田無庁舎 = 子育て支援課、保育課、児童課
保谷庁舎 = 子育て支援課、健康推進課
教育相談課
各児童館・児童センター
市民会館2階 = 男女平等推進係

手当て・
医療費助成

母と子の健康を守るサービス
(妊娠～小学校入学まで)

- ・市(健康推進課)の事業
- ・都多摩小平保健所の事業

公園情報

保育園情報

- ・保育園について
- ・子育て支援事業について
- ・幼児教育機関(施設)案内図

児童館・学童クラブ情報・乳幼児活動

母親クラブ情報

子どもたちのために
ピッコロハウス

相談窓口案内

ファミリー・サポート・センター